学芸学部ジョイントプログラム
ミニカンファレンス

From Now On

地球を守る sound ～耳をひらいて共生する～

FROM NOW ON とは

「学芸学部ジョイントプログラム」が主催する年に一度のカンファレンス。
今年度のテーマは「環境 × 音楽」。
皆さんは地球上で大きな課題となる環境問題について、どのくらい知っていますか？地球温暖化は今も進行しており、Climate Clock（気候時計）によるとタイムリミットはあと 4 年を切っています。そこで、今年のサブタイトルは「地球を守る sound」とし、環境から発せられる様々な SOS を「音 - サウンド -」の分野から暴きます。音楽を通して地球の現実に耳を澄ませ、明るい未来を探してみませんか。

2026 1/7wed
15:00-18:00

講演・演奏

菅沼起一　「耳をひらく：古楽から見る現代の環境問題」
重松壮一郎「共生する音楽 ~SYMBIOTIC MUSIC」

廃材を使った楽器づくり・セッション

参加費：無料

会場：同志社女子大学京田辺キャンパス頌啓館 K355 他

Guest profile



菅沼起一（音楽学者・リコーダー奏者）

京都市出身。東京藝術大学古楽科リコーダー専攻卒、スイスとドイツで研鑽を積み、博士号（音楽学）を取得。現在は京都大学・洗足学園音楽大学・京都女子大学非常勤講師、ピティナ音楽研究所協力研究員。リコーダー演奏と音楽学研究の両面で活躍している。



重松壮一郎（ピアニスト、作曲家、即興演奏家）

横浜市出身、早稲田大学卒。
「生きとし生けるものすべてに向けた音」をテーマに即興演奏と作曲を展開し、国内外で数々の公演実績を持つ。平和活動や YouTube・ラジオ配信、企画制作等にも積極的で、多方面で活躍中。

Schedule

1/7wed

15:00 オープニング

15:15 講演・演奏　菅沼起一「耳をひらく：古楽から見る現代の環境問題」

16:15 廃材を使った楽器づくり

16:45 講演・演奏　重松壮一郎「共生する音楽 ~SYMBIOTIC MUSIC 」

17:45 クロージング

From Now On

協力：コネクタテレビ

本イベントでは撮影を行い、映像は後日インターネットテレビ「コネクタテレビ」にて公開予定です。

制作：メディア創造学科　奥田結